氏名
 龍頭 信二
 所属
 一般文科
 職位
 教授

職務	項目例	項目例 割合 【%】		活動内容		
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計 画	25	担当科目「保健体育3」「生涯スポーツ」 保健体育3ではこれまでの研究を生かし、試行的に新たな取り組みを行っ ている最中であり、これを継続しつつ学生たちが楽しみながら積極的に参 画してくれるような授業を心がける。 また授業評価アンケートで大多数の学生が総合的によい授業であると評 価してくれるよう、さらに授業展開等に工夫していく。		
		実績				
	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	10	研究成果を生かし、学生の授業への取り組み意欲を高める新たな授業方法を昨年度に引き続き実践し、本校体育授業に関する研究について成果発表ができるよう準備を進めていく。		
		実績				
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	20	バドミントン部代表顧問:管理運営面で時間をとられることが予想されるが、時間の許す限り土日祝日を含めた練習指導や引率等で部員たちのサポートを行う。		
		実績				
務/管理運	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	40	学生主事:学生主事としての仕事は多岐に渡るが、一つ一つの仕事を忠実に実践するとともに、昨年度以上に学生会活動や課外活動の活性化に尽力したい。 一年目の経験や反省点を活かし、学生がより良い学校生活が送れるよう取り組んでいく。		
		実績				
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	所属学会: 日本体育学会 九州体育・スポーツ学会 日本運動生理学会 時間の許す限り学会活動にも参加していく。		
		実績				

教員業務内容報告書

報告者氏名 龍頭 信二 所属 文科 職位 教授 報告年度 令和5年度

分		計画		実績	=1 +1\ =+ == F
m-z	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	記載事項例
教育	25	担当科目「保健体育3」「生涯スポーツ」 保健体育3ではこれまでの研究を生かし、試行的に 新たな取り組みを行っている最中であり、これを継 続しつつ学生たちが楽しみながら積極的に参画し てくれるような授業を心がける。 また授業評価アンケートで大多数の学生が総合的 によい授業であると評価してくれるよう、さらに授業 展開等に工夫していきたい。	25	計画通り、授業を進めることができた。またアンケート結果についてもおおむね良好であった。	担当科目名· 単位数 卒業外研究· 專学生数 導育方法改善 内容
研究	15	研究成果を基に新たな授業方法を昨年度に引き続き試行的に実施し、本校体育授業に関する研究を成果発表(紀要等に発表)できるよう準備を進めていく。	10	新たな授業方法を試 行的に実施し、データ 収集を行った。	論著総字 主 等 於 等 等 時 時 形 行 等 一 所 相 費 会 許 一 の 行 的 会 的 会 的 会 的 会 的 。 的 会 的 。 的 。 的 。 的 。
学生生活指導	20	バドミントン部代表顧問:管理運営面で時間をとられることが予想されるが、時間の許す限り土日祝日を含めた練習指導や引率等で部員たちのサポートを行う。	15	校務および管理運営 関係業務に時間を取 られることが多く、平日 の練習指導がほとん どできなかった。	クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	35	学生主事:学生主事としての仕事は多岐に渡るが、 一つ一つの仕事を忠実に実践するとともに、今年度 は特にコロナ禍で停滞を余儀なくされた学生会活 動や課外活動の活性化に尽力したい。	45	問題事案が多く発生 したため、その対応に 時間を取られることが 多く、他に影響した。	主 事 の 科 長 長 長 長 長 長 等 主 担 員 会 会 著 会 会 着 会 会 着 会 会 着 会 る 等 る る る る る る る る る る る る る る る る る
社会活動	5	所属学会: 日本体育学会 九州体育・スポーツ学会 日本運動生理学会	5	学生支援にかかわる 活動に参加した。	所属学会名 学会期 公開講座 出前授業 男女交流 男際所団体活動

⁽注)エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

⁽注)フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。